

記者発表資料

平成 28 年度 東京空港整備事務所の事業概要について

H28 年度事業費 354.5 億円

事業の概要

羽田空港は、国内航空交通の中心として国内 49 空港との間に 1 日約 500 往復、また国際航空交通では海外 26 都市との間にネットワークが形成（2016 年夏ダイヤ）され、国内・国際総旅客数で年間約 7,600 万人（平成 27 年度）の人々が利用しています。

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な開催、さらにはその先を見据え、首都圏の国際競争力の強化、増加する訪日外国人旅行者の受け入れ、地方創生等の観点から、首都圏空港の機能強化に向けて、羽田空港の飛行経路の見直し等により 2020 年までに羽田・成田両空港の空港処理能力を約 8 万回拡大することに取り組みます。

また、平成 28 年度は、『日本再興戦略』改訂 2015 等に基づき、国際競争力を強化し経済成長を促進するために必要な施設整備や耐震対策を重点的に実施します。

平成 28 年度予定

平成 28 年度予算では、羽田空港の飛行経路の見直しに必要となる誘導路等の施設整備に係る調査・設計等を実施します。また、駐機場・誘導路の整備、国際線・国内線地区を結ぶトンネル（際内トンネル）の整備、空港アクセス道路改良、C 滑走路等の耐震対策を実施します。

事業の効果

- 夜間駐機場の拡充等により、拠点空港機能が強化されます。
- 国際線・国内線の乗継ぎ経路の拡充等により利便性が向上します。
- 地震発生率が高いとされる首都圏直下地震等に対し、震災後も航空ネットワークの機能低下を最小化するための耐震化が図られます。



東京空港整備事務所ホームページ URL <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/haneda/index.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、東京航空記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所
 担当 副所長 すがわら ひろゆき 管原 広幸、第一工務課長 きたがわ しゅんじ 北川 俊治
 TEL 03-5757-2076 FAX 03-5756-4974